

岐阜県災害対策本部員会議（第1回）

【日時】平成30年9月30日（日） 18:00 ~

【場所】4階 特別会議室

数値等は、速報値のため今後変更となることがある。

目的

○状況の共有

○当面の対応方針

次第

- 1 土砂災害、河川水位等の状況
- 2 被害、避難の状況
- 3 今後の気象概況
- 4 各部等の対応
- 5 副本部長指示

1 土砂災害、河川水位等の状況

2 被害、避難の状況

(1) 県内の被害状況

(2) 県内の避難勧告等の発令状況

<避難勧告>

なし

<避難準備・高齢者等避難開始>

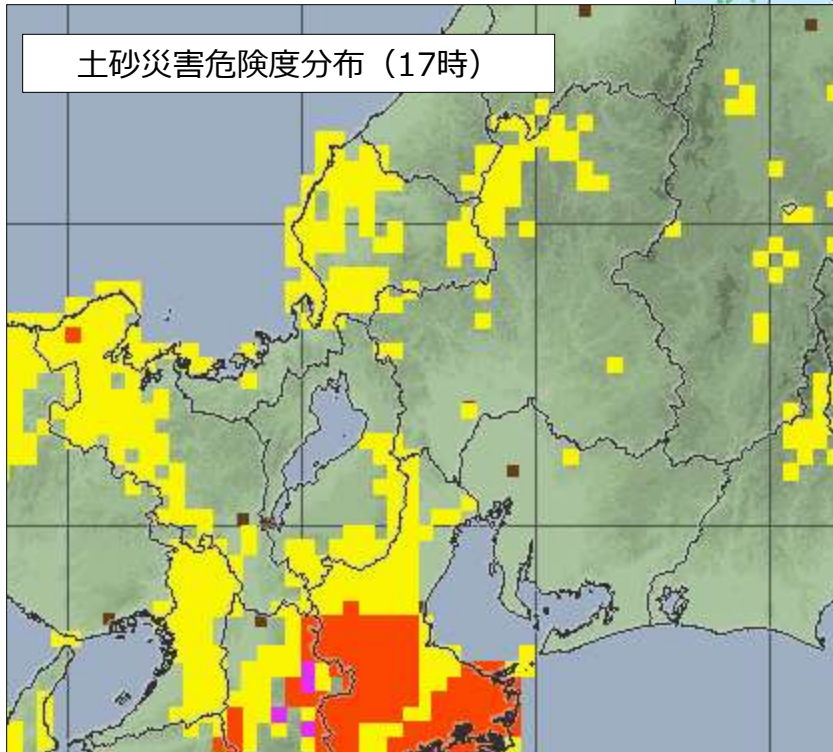
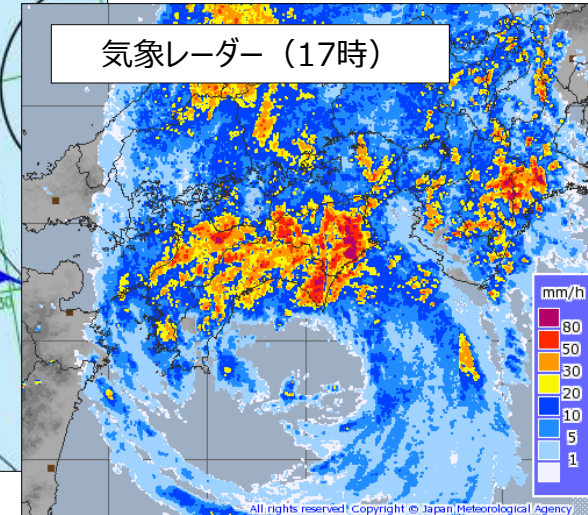
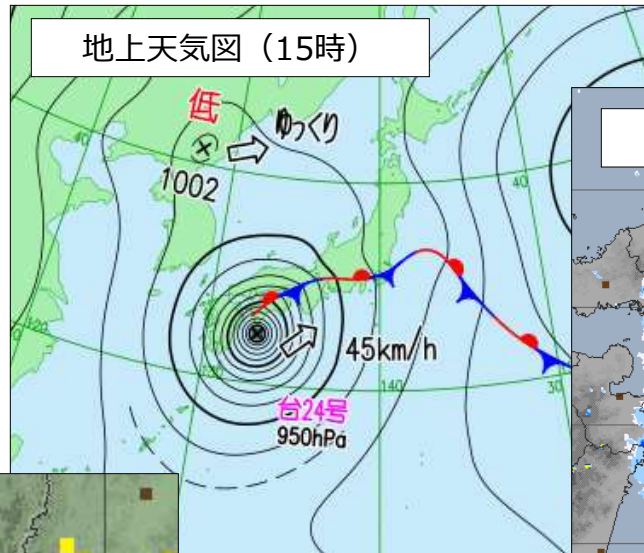
18市9町1村

3 今後の気象概況

- ・ 台風第24号は強い勢力を保ったまま、夜遅く(21から24時)にかけて岐阜県に最接近、**記録的な暴風**となるおそれがある。普段風が強まらない地域でも風が強まるため、暴風に厳重に警戒。
- ・ 台風周辺の発達した積乱雲の影響で、猛烈な雨が降る所がある見込み。低い土地では浸水に警戒。大雨により河川では水位が上昇、河川の増水や氾濫に警戒。
- ・ 明日12時までには、多い所で250ミリの大雨が予想されるため、土砂災害に警戒。

気象概況

- ・ 台風第24号は四国の南海上を北東進、中心付近や南東斜面では、雨雲が発達し、非常に強い風を観測。

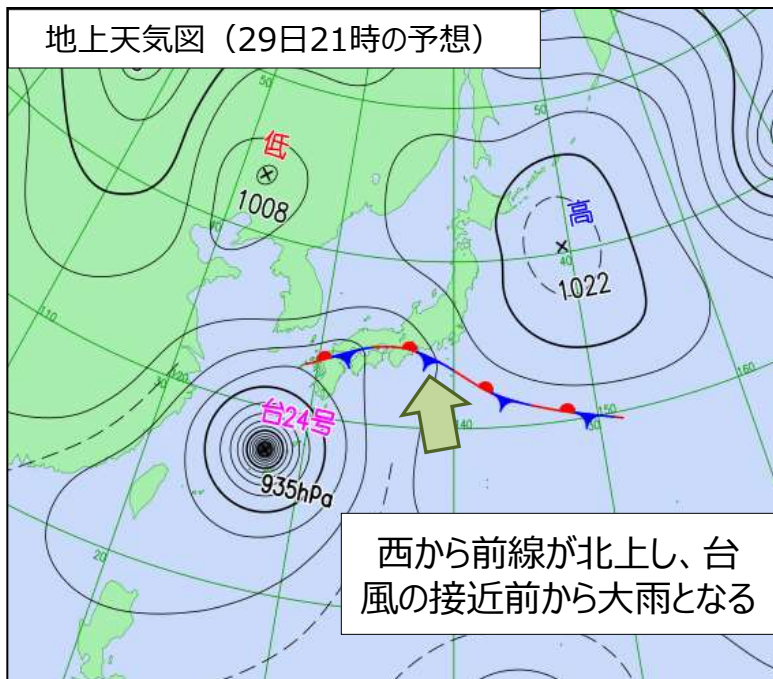
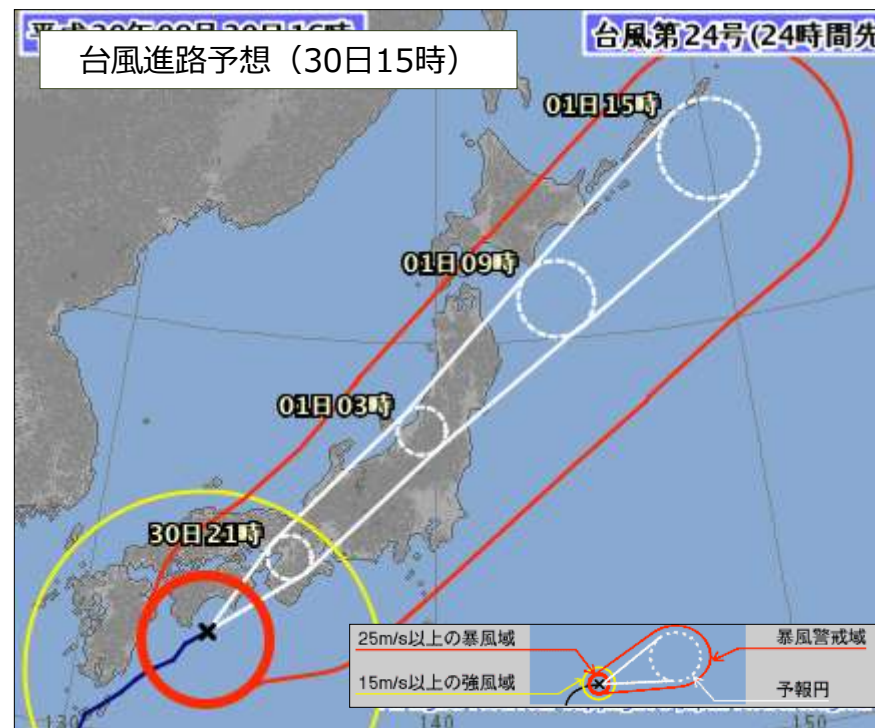


- ・ 岐阜県では、29日未明からの総雨量が100ミリを超えているところがあり、土砂災害への危険度が高まっている。
- ・ 今後、台風による大雨でさらに対象地域や危険度が増大する見込み。

台風進路予想と岐阜県への影響

(台風進路予想)

台風第24号は強い勢力で西日本に上陸後、岐阜県には夜遅くに最接近、岐阜県上空を通過する可能性が高い。



(岐阜県への影響)

台風の最接近時には、台風周辺の暴風域の影響で大荒れの天気となる見込み。台風を中心付近の発達した雨雲の影響で猛烈な雨が降り、大雨となるでしょう。

注意報・警報の見通し(雨量などの予想)

			30日			1日						
			15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時		
			夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ		
台風最接近					最接近							
岐阜県	大雨(土砂)	美濃地方										
		飛騨地方										
	大雨(浸水) (ミリ)	美濃地方	70	80	80	50	30					
		飛騨地方	50	70	80	50	30					
	洪水	美濃地方										
		飛騨地方										
	暴風 (メートル)	美濃地方	15 ↗	20 ←	20 ↘	17 →	12 →					
		飛騨地方	15 ↗	20 ↙	20 ↓	17 ↘	12 ↘					
雷	美濃地方	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻						
	飛騨地方	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻						

■ 警報級 ■ 注意報級

注意報や警報は、現象開始時期の3-6時間前に発表します。

1日12時までの24時間雨量、多い所で 美濃地方、飛騨地方ともに、250ミリ

台風の進路や雨の降り方によっては、警報級や注意報級となる時期や量予想が変更になることがあります。最新の気象情報をご利用ください。

防災事項

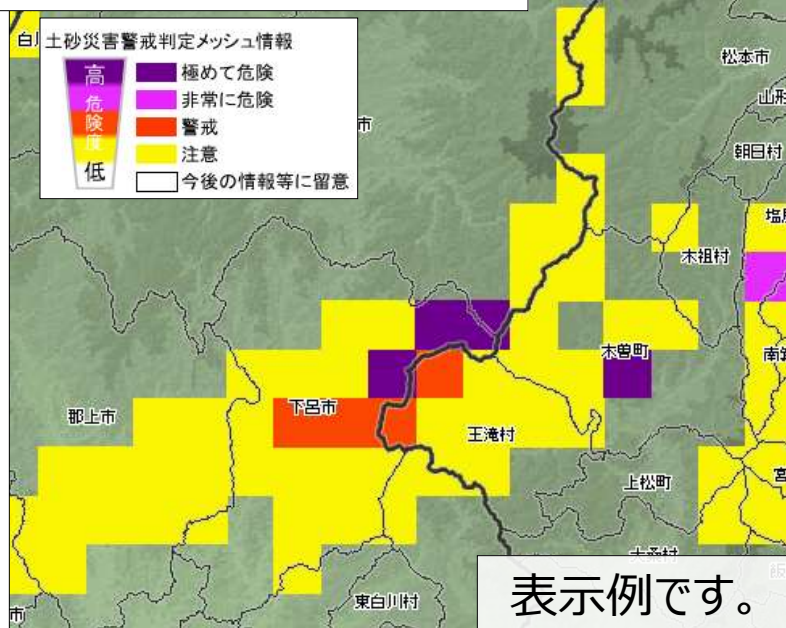
- 21時ごろまでに、**洪水警報に切り替える**見込みです、暴風警報は1日未明、大雨警報は1日明け方に解除の予定です。
- 台風は強い勢力を維持したまま、岐阜県上空を通過するため、記録的な暴風となる所がある見込みです。台風通過時には東寄りの風、通過後は西寄りに変わり、ともに非常に強く吹くでしょう。

(警戒や注意事項)

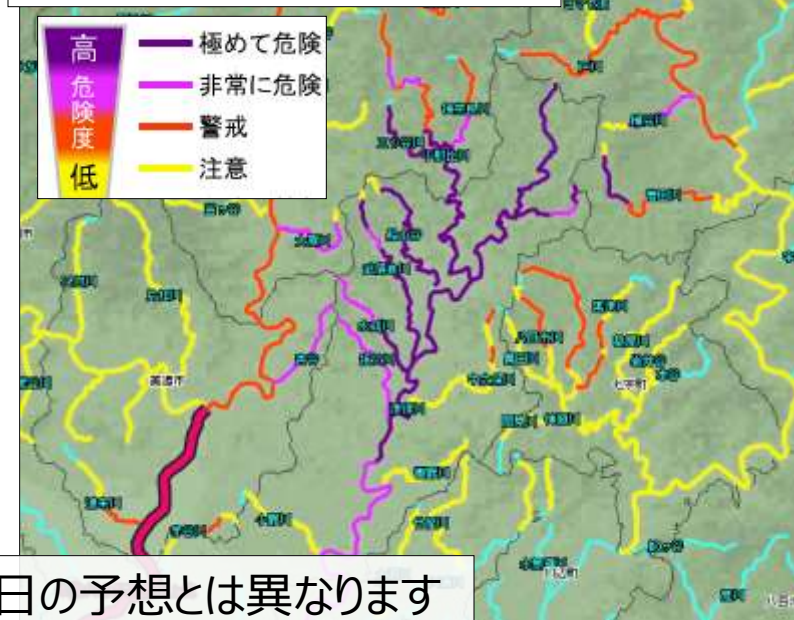
- 短時間に猛烈な雨が降る所があり、低い土地では浸水に警戒。
- 大雨により河川では水位が上昇、河川の増水や氾濫に警戒。
- 大気の状態が非常に不安定となり積乱雲が発達、竜巻などの激しい突風、落雷、降ひょうに注意。

危険度分布の利活用

土砂災害警戒判定メッシュ情報



洪水警報の危険度分布



土砂災害警戒判定メッシュ情報は、大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを示す情報です。洪水警報の危険度分布は、洪水害発生の危険度の高まりの予測を示しています。

危険度に応じて色分けしています。警報や注意報の補完情報として、気象庁ホームページなどで確認ください。

気象庁ホームページコンテンツ



土砂災害警戒判定メッシュ情報



洪水警報の危険度分布

4 各部等の対応

危機管理部

- 災害情報集約センター内の
指揮総括チーム、災害情報集約チームにおいて
住民避難、被害に関する情報を収集

農政部

○農業被害情報収集中

(農政課)

林政部

○林業被害情報収集中

(林政課)

県土整備部

○各土木事務所において、各地に設置した雨量計の推移と水位情報等を注視し、災害の発生情報等を収集中

(建設政策課)

県警本部

○警備部長を長とする災害警備連絡室を設置

(17時00分)

中部電力(株)

5 副本部長指示

- すでに日没後であり、今後風雨が強まり、状況が悪化してからの避難情報発令はかえって危険なケースもある。
避難情報の発令に当たっては、避難所への立ち退き避難が危険を伴うと判断される場合には、垂直避難や、屋内退避など安全確保行動をとるよう、適時・適切な避難を呼びかけていただきたい。
- また、中小河川では降雨から氾濫に至るまでの時間が短いため「洪水の危険度分布」を見落とさないよう監視が必要。
- 併せて、昨日からの雨で地盤が緩んでいる箇所が多いことから、土砂災害の危険度メッシュについての監視も怠らないよう目配りが必要。
- 台風21号では、倒木などにより県下で大規模な停電が発生し、復旧までに長期化したケースもあった。
住民には懐中電灯やラジオ、電池、スマホの充電などの備えも呼びかけていただきたい。また、万一発生した場合には、電力会社と連絡を密に、復旧見込みを伝えるなど混乱や不安の解消に努め、こまめに住民ニーズの把握等に努めること。
- 市町村におかれては、被害が発生した場合や応援が必要な場合には、遠慮なく災害対策本部へ連絡いただきたい。